

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2025

いつもの暮らしに、ちょっと素敵な発見を。

10年目の節目を迎える「あさひかわデザインウィーク（ADW）」は、地域の魅力とデザインの力をあらためて見つめ直す9日間。

家具やクラフトだけでなく、食や観光、教育、そして暮らしそのものへと広がるデザインの視点を、多彩なプログラムを通して体感できます。

日常のなかにある「なんかいいね」を見つけるに、旭川のまちへ出かけてみませんか？

【主 催】あさひかわデザインウィーク実行委員会 ☎ 74・3355

イベントの詳細は、
ADWで随時更新します



あさいち

あさひかわの暮らしの豊かさに触れられる朝のマルシェとして、好評を博した「あさいち」がパワーアップして今年もやってきます。心地よく設えた特別な場所で、地元の作り手たちのこだわりが詰まった「おいしい」朝ごはんを味わい、心温まるすてきなひとときを体感してください

【と き】6/21(土)・22(日) 7:00~12:00

【と ころ】あさひかわ北彩都ガーデン（宮前2の1）

※当日は、ガーデンセンター駐車場をご利用できません。公共交通機関をご利用ください。

※荒天の際は中止となる場合があります。

まちなかキャンパス 2025

平和通買物公園を丸ごと会場にした高校生・大学生を中心とした学び合いのイベントです。「まちづくり」「デザイン」「創造都市」をテーマに、来場する子供や社会人と一緒にSDGsやデザイン、ものづくりなどを学び合います

【と き】6/21(土) 10:00~16:00・22(日) 9:00~16:00

【と ころ】平和通買物公園

【主 催】まちなかキャンパス実行委員会



この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています



THE TALK

SHIRO今井浩恵さん、6 D木住野彰悟さんをそれぞれゲストに迎えるトークイベントを開催。デザインを通して語られる想像と気づき、あさひかわの未来へつながるまなざしをお届けします

【と き】6/22(日)・27(金)

【と ころ】ハルニレぼっぱ（旭神3の2）ほか



Meet up Furniture Asahikawa 2025

雄大な自然、綿々と受け継がれる技術力、そして国際的に評価されるデザインを強みに、日本五大家具産地の一つに数えられる「家具の産地・旭川」。産地としての総合インフラをフル活用した「ものづくりの現場」を舞台に、今年も産地展を開催します

【と き】6/25(水)~29(日)

【と ころ】旭川デザインセンター（永山2の10）、旭川市・東川町・東神楽町・当麻町の各メーカー、工房、ショップ ほか

【主 催】旭川家具工業協同組合



goen

今年のgoenは、より地域に開かれたイベントへと進化します。デザインとクリエイティブを中心に、誰もが垣根なく交流できる場を目指し、分野や世代を超えた出会いの中から、新たな「ご縁」が生まれることを願っています

【と き】6/25(水) 17:00~19:00

【と ころ】あさひかわ北彩都ガーデン（宮前2の1）



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2025

【と き】6/21(土)~29(日)

ロゴが一新された背景と意思について聞かせてください

森 組織が変わったこと、ADWが10年目の節目を迎えることから、実行委員と話し合い今年からロゴを一新しました。

旭川市デザインシステムとの一貫性や柔軟性を持たせたいと思い、デザインの「D」に見立て、青の半円にアレンジしたロゴにしました。

今年ADWをどんなイベントにしていきたいですか？

山田 デザインを理解しようとする、色や形の解釈にとらわれることがありますが、生活の中で人を幸せにしたり、楽しんだり、豊かにしたりなど、たくさん可能性があるのでデザインであると、僕は解釈しているんです。ただ、それを押し付けるイベントではなく、市民の皆さんには「なんかいいね、楽しいね」という体験の中から、デザインに対する「気付き」を感じていただきたいんです。

森 旭川市がデザインを活用する取組みの

あさひかわデザインウィーク（以下ADW）の新実行委員長に就任された森さん、就任の経緯を教えてください

森 前実行委員長の渡辺さんとは以前からお付き合いがありました。渡辺さんは家具業界のイベントだったADWを、全産業、全市民向けに変えていきたいという思いが強かったんです。そのためにご自身がいったん退く決断をし、後任としてお声がけいただきました。私は運輸会社を経営していますが、元々はデザインの仕事をしていた、ADWにも関わりがありました。他の地域ではあまりないこの取組みはなんてすてきなだろうと感じていましたので、お引き受けしました。

一翼を担うのが、ADWです。山田さんをはじめとして広い見知を持つ方のご協力、デザインで気持ち豊かになるようなイベントにしたいと思っています。

若い世代には、ADWの意義や魅力はどう伝えたいですか？

山田 若い世代の方々の感性やライフスタイルは非常に多様で、また時に感覚的に我々が刺激を受けることも多々あります。そのような方々にも自然にデザインに触れてほしいと思うっており、デザインの押し売りになるようなことはあえて回避して、イベントを語るようにしています。例えば「あさいち」では、デザインという言葉での直接的なコミュニケーションを取らないようにしています。また、デジタル時代に対応するべく、今年からはSNSでの発信にも力を入れています。より今の時代の生活に即したかたちでADWに触れていただくコミュニケーションを考えているので、構えずに「ADWって何？」ということから興味を持ってほしいですね。

森 大人たちが「このまちには何もない」と語ることに、若者が嫌気がさしているという現状もあると思います。彼ら彼女らや市民が地元誇りに誇りを持っていること。デザインってそのためにある、究極的にはそう考えています。

読者や来場者に向けてメッセージを

山田 「気付き」の大切さ」に気付いてほしいなと思います。日々暮らしている中で当たり前に起きていることにも、時には「なぜ？」と考えてほしい。「見えている」から「見ている」へ行動を変えてみる。その好奇心がクリエイティブを育て、デザイン都市の個性や魅力につながるんです。好奇心のきっかけになるイベントとして、昨年より確実にパワーアップしているので、ぜひお越しください。

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2025
実行委員会 実行委員長

もり しゅんいち
森 俊一さん

昭和42年旭川市生まれ。札幌の専門学校卒業後、商業施設や空間づくりに関わる企業に勤務し、その後デザイン事務所を設立。現在は日新運輸の代表取締役社長を務め、北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部では支部長を歴任し、地域企業間の連携強化や人材育成に取り組む。本年度、ADW実行委員長に就任



ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2025
クリエイティブディレクター

やまだ あきひろ
山田 明宏さん

昭和49年旭川市生まれ。平成12年、資生堂入社。平成22年より上海へ駐在し、中国でのクリエイティブ責任者を務める。令和2年に帰国し、現在は分社化により設立された資生堂クリエイティブにて、資生堂の様々なブランドのクリエイティブディレクターとして活躍。昨年度に引き続き、ADWクリエイティブディレクターに就任

森 時代の変化とともに、ADWも10年目の節目で大きく変わろうとしています。皆さんにはデザインの力や気付きを体験してほしいと思っているので、ご参加いただきたいと思います。